

研究だより

福山市立坪生小学校
2020年（令和2年）
10月
NO. 5 研究部
文責：研究主任

10月8日（木）校内研究授業まとめ

先日は、研究授業ありがとうございました。授業をしてくださった先生方、日程の調整ありがとうございました。今回は、学年をシャッフルしての参観となりました。普段じっくり他学年の授業を見る機会がない中で、他学年の様子をしっかりと見る事ができたのではないかなと思います。学年に応じた先生方の関わり方、学年ならではの取組を参考に、自身の学級でも生かしていきましょう。

授業参観の視点 **1** 主体的な子どもの様子や活動
2 主体的な授業づくりのための教師の関わり方



【1年生 生活科「あきとなかよし」】 宮原学級



1

- ・前回までの生活科で秋の虫を見つける活動をしており、そこでの活動を思い出しながら考えていた。
- ・家庭や公園など、授業以外で見つけた秋のものやできごとなど、体験したことをもとにたくさんの発言をしていた。
- ・「朝顔」は秋の花かどうかという会話の中で、「今もまだ咲いていた！」や「はるじゃない？」「夏に咲いたけん絶対秋じゃない」など、自分の体験を季節と結び付けて考えていた。

- ・自分の経験から、秋のものを伝える姿があり、どんどん伝えたいという思いがあふれる雰囲気だった。

2

- ・児童が授業外で見つけた秋のものを、拡大投影機で映し、全体で共有していた。
- ・秋の虫探して体験したことをもとに、考えを広げられるようにしていた。
- ・センテンスカードの絵をあえて白黒にすることで、児童が自分でイメージを広げられるようにしていた。
- ・「それはどんなことをするの？」や「さつまいもってどんなおいも？」など、児童が出た意見がどんなものかイメージを共有できる切り返しをされていた。

【2年生 生活科「あそびのたつ人あつまれ」】若林学級

①

- ・1年生の経験を思い浮かべながら招待状などを書いている。
- ・作ったおもちゃを試す活動をしながらか問題がある場合は自分たちで改善をしていた。
- ・教科書を見て今準備している中で自分たちに足りないものを探し準備につなげる。
- ・招待状を渡す日や渡し方を自分たちで決める。



②

- ・授業の初めに目的「1年生のために」と「今日を入れて3時間が準備の時間」を確認することでこの時間に何をしなければいけないかが考えられる用の働きかけていた。
- ・やるべきことをはっきりさせてから活動に入る。
- ・経験したことを活かしながら学習を進めるように働きかける。



【3年生 総合「探求学習をしよう～坪生の昔にタイムスリップ～」】平井学級

①

- ・どんな発表にしたいか、1学期の発表の反省を生かし、グループで話し合い、リーダーが考えをまとめて話していた。
- ・思考ツール（PDマトリックス）自分たちの発表にどの方法が一番良いか自分で考えて、メリット・デメリットを付箋に書き、友達の物を参考にしたり、アドバイスをしたりしていた。

- ・先生の話聞き逃さず、「どういうこと？」など反応していた。

②

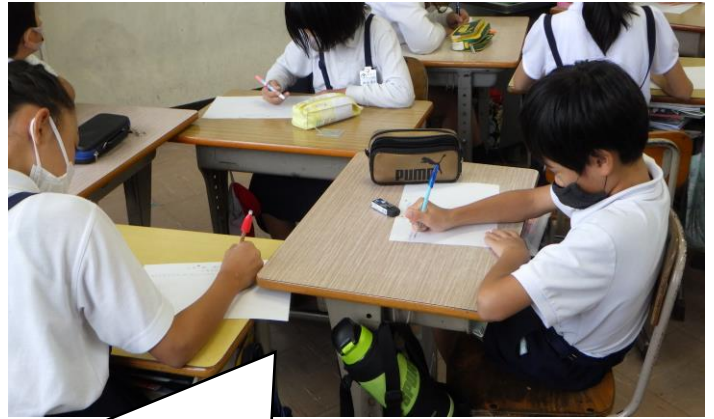
- ・1学期の発表経験を想起させていた。（何が良くなかったか）
- ・レベルアップするためにどんな発表にするのか、どんな力を付けるのか意識させ、それを拠り所に考えさせた。（視覚化）
- ・思考ツールの提示（マトリックス法と、メリット・デメリット、工夫、改善点）
- ・自分の考え→グループ→みんなで考える（審査）を視覚化して提示してあった。
- ・発表方法を決めることと並行して調べ学習も進めていた。



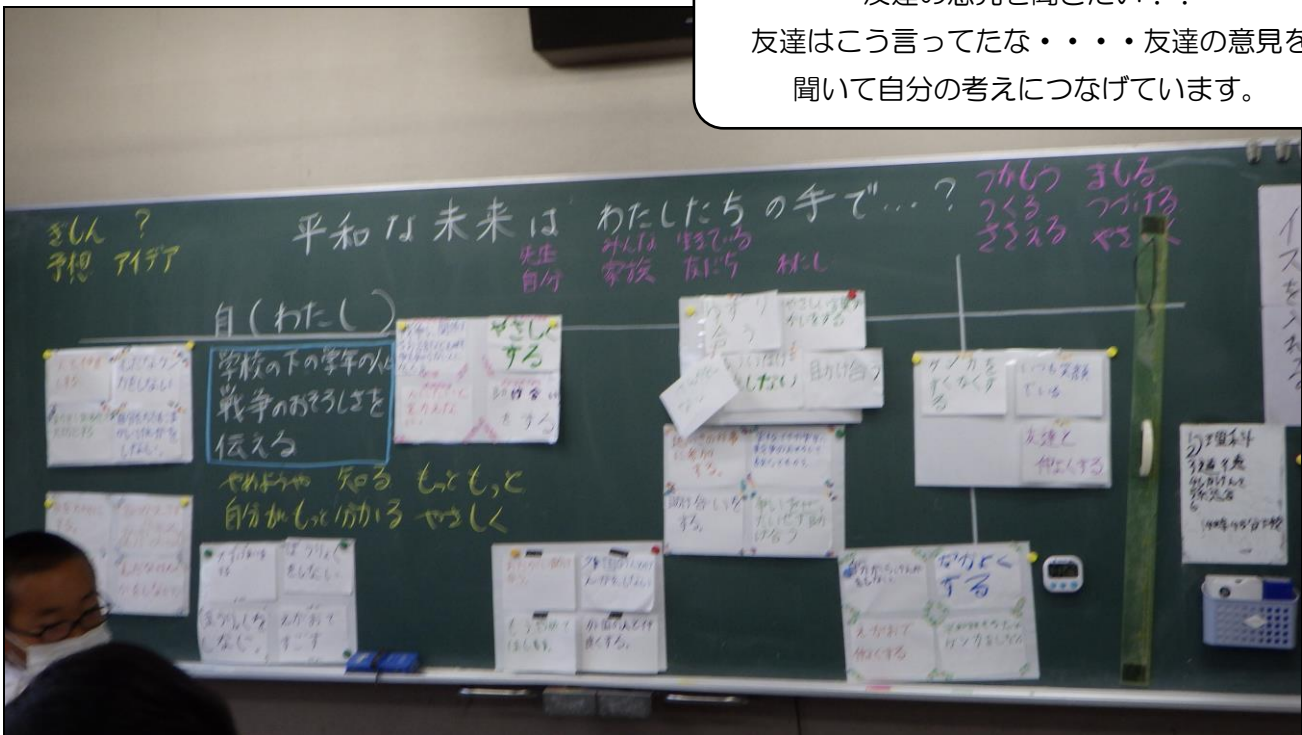
【4年生 総合「平和な未来は私たちの手で」大原学級

1

- 友達の意見を聞いて自分のつづやき(考え)を書いていた。
- 意見を言っていない児童に意見を聞いたり、自分たちの力で意見を出していた
- 共感する雰囲気、意見の出しやすい学級の雰囲気づくりができていた。
- 子どもたちで話し合いを進めたりまとめたりしていた。



友達の意見を聞きたい！！
友達はこう言ってたな・・・友達の意見を聞いて自分の考えにつなげています。



2

- 話がそれてくると教師が大きなテーマを一つ投げかけ、それによって子どもたちの意見のだしあいが活発になっていた。(目的の明確化)
- 児童の発言を待って受け止めていた。
- 話し合いに行き詰って困っていたら、切り返しをしながら自分たちで進められるように修正をしていた。
- 的確な個別支援が行われていた。

【5年生 総合「坪生の農業を盛り上げよう！」】 亀本学級

1

- ・自分は「何を考え、何をするのか」一人一人明確になっていたの目的をもって活動していた。
- ・考えたことを実現するためのプロジェクトだったので、生き生きと活動をしていた。
- ・よりよい計画にするために活発に意見交流をしていた。
- ・計画をする中で修正や援助が必要なことなど次々にみつけ、積極的に考えを出し合っていた。
- ・グループでの活動だけではなく一人で考えを整理する場面も見られ、自分に合ったスタイルで活動を進めていた。



2

- ・柔軟な対応で子どもたちの「やってみたい」という思いに沿って授業を進めていた。
- ・始めに学習の目的や活動の視点を明確にしていたので、自分事として活動ができていた。
板書に視覚的な支援がされていた。(短くわかりやすい言葉ですっきりと)
- ・活動の時間がしっかり確保できるように工夫されていた。
- ・全員の状況を把握し支援を必要としている児童に的確な支援をしていた。

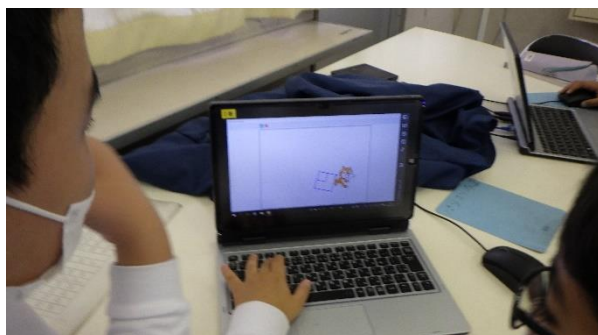
【6年生 総合「Let 's プログラミング」】 池本学級

1

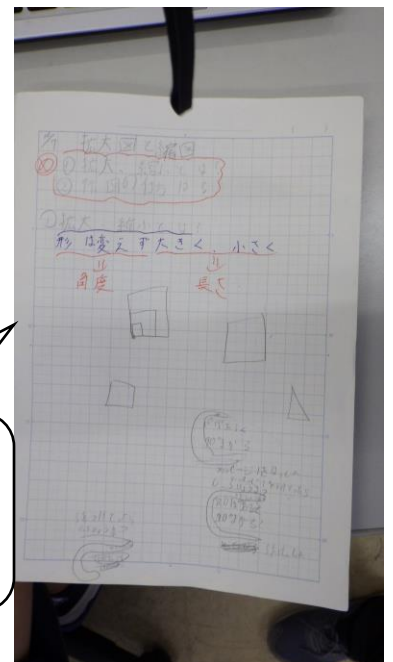
- ・「色をかえると分かりやすい」「他の多角形もかいてみる」など自分で工夫して進もうとする姿。
- ・「角度」だけでなく「座標」を使って作図しようとしている姿
- ・授業後に家でもやってみようと言った子がいること。

2

- ・よい例を共有するように声をかけた。
- ・「スクラッチで拡大図・縮図をかく」という大きなわくだけは与え、中身については児童にまかせた。
- ・子どもたちが書いたそれぞれの図にアドバイスやもっとよくなる方法を伝えていた。



疑問点や整理したいことを
ノートにメモ



【岡田学級（情緒1）】

算数1年「たし算」2年「かけ算（2）」3年「かけ算のひっ算（1）」

①

1年生（ $3+9$ の計算）

- ・教師用ブロックを出し、自分たちで並べてさくらんぼ計算につなげていた。
- ・見に来ている先生に計算方法の説明をしていた。



2年生（8の段の九九をつくる）

- ・一人でも8の段の九九表を見ながら唱える。1回唱えるごとに口にはを入れていた。
- ・1つ問題が終わると「終わりました。」と担任に声を掛け、次にできる問題を考えて取り組んでいた。
- ・自分ですることを考えていた。

3年生（2けた \times 1けたの筆算）

- ・与えられた問題を解き終えたら静かに待ち、もう少し待たないといけないと理解すると次の問題を解いたり、友達にどこまで解いているか聞きあったりしながら問題をどんどん解いていた。
- ・自分問題を作って待っていた。



②

- ・九九表の準備（児童が必要だと思ったら自分で取りに行っていた）
- ・個々の個性や学力の把握、学年ごとの単元の把握を行い、授業に軽重をつけていた。
- ・普段から他学年と担任が学習している時に、どのように自学を進めていくのか考えさせている。
- ・わたりの授業の計画ピンクと黄色の付箋を使い、自分がどの場所にいるかを介助員と確認していた。

授業をしてくださった先生方、ありがとうございました！

主体的な学びに正解はありません。目の前の子どもによって、先生によってその幅はいくらでも広がります。今、目の前の子どもたちが何をしたいのか、何を考えているのか、その実態を把握しながら必要な子に必要な支援を与えていきましょう。教師側から与えることも必要な場合がありますが、気づかせることも大切です。子どもたちが気づき、学びに夢中になるような環境づくりを仕掛けていきましょう！

先生方の感想（明日から生かしていきたいこと）抜粋

- ・児童がこれまでに体験したことがもとになって学びに結び付くことを改めて実感した。その体験や児童の考えたことから授業を展開していけるように意識したいと思った。
- ・教員の理想に促したり導いたりするのではなく、活動を振り返る中で改善すべき点や良かった点を気づかせることが大切であると改めて感じた。
- ・児童一人一人が考えを明確にもてるように学習のテーマをはっきりさせる
- ・児童が活動を把握するために目的を確認していく。児童の活動時間を十分とるために全体での話を最小限にする。児童が行っていることを把握する。
- ・今児童がどのようにつまずき、どうすべきかわからない時の支援を考え実践していこうと思う。
- ・次の活動を見据えて、子ども達から学習を楽しもうとする姿が見られることが大切だと思った。



すぐに取り入れられることは取り入れ、先生方の実践を共有していきましょう！

次回の研究授業は、11月19日（木）です！校区授業研で、学年参観にします。

1-2, 2-1, 3-2, 4-2, 5-2, 6-2, 松田学級 よろしくお願ひします。